

第8組 インターシティ・ミーティング 報告

大阪城南RC 会長 **井上裕貴**

IM実行委員会 委員長 **梅崎道夫**
(大阪城南RC)

ホストクラブ：大阪城南ロータリークラブ

開催日時：平成27年2月21日

開催場所：シェラトン都ホテル大阪

参加人員：141名

テーマ：なぜ貧しい国はなくなるのか～正しい開発戦略を考える

講師：政策研究大学院大学教授 大塚啓二郎氏

本年度第8組インターシティミーティングはIM8組川上善司ガバナー補佐指導の下、大阪城南ロータリークラブがホストクラブとして開催されました。泉博朗ガバナー、立野純三ガバナーエレクト、各組ガバナー補佐、各組ガバナー補佐エレクト並びにIM8組の多くのロータリアンが参加されました。

IMの開催の為に立ち上げられた大阪城南ロータリークラブIM実行準備委員会ではロータリーのターゲットに合うべくテーマの検討がなされました。その中で「なぜ貧しい国はなくなるのか」(日本経済出版社刊)という本に巡り合いました。そこで著者の政策研究大学院大学教授の大塚先生に直接ご講演をお願いし、ご快諾を得ました。

私たちロータリアンはクラブ単位、ツイズクラブと共に、グローバル補助金を使ったり、地区補助金を使用して人道的な支援活動を海外でも展開しています。大塚教授の著書についてご講演をいただくことは、これらの事がより深く理解を進める事になり、又

私たちが日ごろ行っています人道的支援をさまざまな角度から検討する絶好の機会だととらえ、この事がRIの今年度のテーマ「LIGHT UP ROTARY」を実践する上でも参考になると考えました。

大塚教授の講演の詳しい内容は著書に譲りたいと思いますが、教授がアフリカ、アジアの現地に赴いて具体的に見聞された事、指導されたことを基にどのように行動すべきか報告されました。世界銀行などは70%を超える人々が経済学の博士号をもつ人々がいて、数多くの論文が発表される頭脳集団だが、具体的な戦略めいたものが考えられていないのご意見もありました。また講演後の質問・質疑コーナーにおいても会場から素朴な質問として「貧しくても幸福な国・ブータン」をどのように考えたら良いのかなどの質問がなされました。

途中コーヒタイムが設けられましたが前後しても退出者がほとんどなく、出席者にとっては有意義な一日になったのではないかと考えております。

